

第1回自動車用途コンポジットシンポジウム原稿の見本

東都大学 ○吉田太郎 東都大学[院] 材料あゆみ

A Sample of Manuscript of Type A Paper

Taro YOSHIDA and Ayumi ZAIRYOU

A manuscript should be prepared with a laser printer or equivalent output with higher quality than a 24 dot-printer. You must submit A4 sheets with a top margin of 25mm, left and right margins of 20mm, and a bottom margin of 22mm. The title and the name(s) of the author(s) should be printed on the first page in both Japanese and English, followed by the abstract of 200-300 words, giving a brief account of the most relevant aspects of the paper. Main text will start with a line spacing above. All figures and tables are positioned within text.

1行分あける。

1 緒 言

これは、第1回自動車用途コンポジットシンポジウムの原稿フォーマットを示したものです。本フォーマットに従いA4サイズ1ページ以内に日本語で作成して下さい。なお、マイクロソフトワードで原稿を作成される場合は、このフォーマットをそのまま原稿にお使いになれば、マージンなどの設定は不要です。以下では、フォーマットの詳細を示します。

2 原稿の執筆上の注意

2.1 原稿用紙 原稿はA4サイズ(297mm×210mm)1ページ以内で作成して下さい。1ページを超える場合は実行委員長(田中和人:ktanaka@mail.doshisha.ac.jp)まで別途ご相談下さい。

2.2 マージン 原稿用紙に、左右20mm、上部25mm、下部22mmのマージンを確保し、この枠内に原稿を作成して下さい。この枠外のもの印刷されませんのでご注意ください。また、本文は2段組とし、コラム幅80mm、コラム間隔を10mmとして下さい。

2.3 題名、著者名 次の事項を本例に従って記載して下さい。(1)和文題名(15ポイント)、(2)和文著者名(11ポイント)、(3)英文題名(13ポイント)、(4)英文著者名(11ポイント)、(5)英文要旨(9ポイント)、題名は中央揃えとしますが、題名の頭には講演番号を事務局でつけますので、左欄の端より30mm以上空けて下さい。また、著者名は、勤務先、氏名の順に、左欄の端より40mm以上空けて記載して下さい。連名の場合は講演者(登壇者)に○印をつけて下さい。

2.3 本文 本文は9ptで執筆下さい。1コラムの文字数は全角で25文字程度、行間隔は14pt程度として下さい。したがって、1コラムあたり51行、1ページあたり約2500字です。参考文献は^{1), 2), 3)}のように番号をつけて本文の最後にまとめて下さい。参考文献の書き方は、日本材料学会誌「材料」の原稿執筆上の規約に準じます。

2.4 図表 図表を本文で引用する場合は、図(写真を含む)については、図1、図2のように、また表は表1、表2のように引用して下さい。なお、図表中の説明、キャプションは原則として英語とします。図・表どうし、あ

るいは図、表と本文は1行以上間隔をあけるようにして下さい。

3 pdf ファイルの作成

執筆した原稿は pdf ファイルに変換して下さい。pdf ファイルへの変換ソフトは各自でご用意下さい。変換に当たっては次の点にご注意下さい。

(1)pdf ファイルにはフォントの埋め込みを行って下さい。これを行わないと、字体が変化する場合があります。

(2)変換した pdf ファイルのサイズは3MByte 以内として下さい。3MByte を越える場合は受け付けられません。整理の都合上、pdf ファイル名は、”CSV1-受付番号-登壇者名.pdf”として下さい。例えば、受付番号が001で、吉田太郎さんが登壇者である原稿のファイル名は、”CSV1-001-Yoshida.pdf”としてください。

3. 原稿の送付

作成した pdf ファイルは、必ず締切日までに E-mail に添付して下さい宛にお送りください。締切日に遅れた場合には、タイトルと著者名だけを論文集に掲載します。

E-mail: rdccm@mail.doshisha.ac.jp

原稿締め切り日: 2009年11月28日(土)厳守

参考文献

- 1) 吉田太郎,北山左京,材料,48,555(1999).
- 2) H.Harada and T.Yoshida, Proc. M. Soc., A-123, 321(1989).

(1行分あける。)

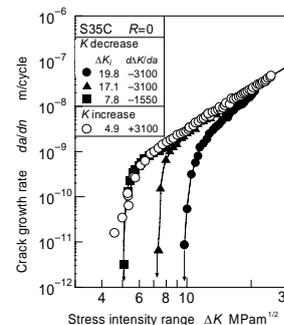


Fig.1 Relationship between da/dn and ΔK .